天文人生のラストスパート

２０１３年１１月２３日　大杉

　ひょんなことで、彗星に興味をもつようなった。社会人になって車が手に入れば、いつでも彗星観測に出かけられると思ったのが大間違いで、なにもしないままでこんな歳になってしまった。ところが今春に現れたパンスターズ彗星がきっかけで、二十数年ぶりにマークＸとニコン３００ｍｍＦ２．８のコンビが稼働。これを機に、少なくなった天文人生を、思う存分たのしんでいきたいと思いました。
この続きは、３００号記念で報告します。

かつては水素増感ＴＰ２４１５を使って１１等級までの周期彗星観測に使っていたシステム。
村下さん（宇治天体精機）に作って頂いた当時では珍しいアリミゾ式台座がとても便利です。
ニコン D600 ISO2000 30 秒露出でこんなに簡単に写ります。